



思いをつなぐ いのちをつなぐ

tsunagu

つなぐ

3.11 を忘れない
今、わたしたちにできること



◎2P～4P

- ・原発を取り巻く環境
- ・福島からのメッセージ
- ・内部被曝から守るために③
- など

Vol. 8

2015年4月5日発行
つなげよう脱原発の輪
上越の会 会報
発行責任者：植木史将

3.11 を忘れない。10万人県知事署名週間 つな脱企画

北陸新幹線上越妙高駅開業イベント脇 街頭署名で628筆！



3月15日(日)、北陸新幹線上越妙高駅の開業イベント会場周辺で、「3.11 を忘れない。10万人県知事署名週間」と銘打って、新潟県、長野県、福島県の21団体が合同で取り組む泉田知事宛「柏崎刈羽原発の再稼働反対と廃炉を求める署名」の街頭署名活動を行いました。

天候にも恵まれ、イベント参加者が次々と署名に応じて下さいました。「絶対反対なんだけど、こんなことしかできなくて……。頑張ってください！」などの励ましのお言葉をたくさんいただきながらの署名活動でした。(署名獲得数：628筆) 3/8～3/22に掛けて、当会含め5団体が各地元で実施され、合計869筆が集められました。

せっかく新幹線が通って町が賑わうようになって、柏崎で原発事故が起きたら元も子もありません。4年も経つと3.11の報道も少なくなってきました。私たちの活動の原点は福島第一原発事故です。教訓と思いやり。福島を忘れることなく、柏崎刈羽原発の再稼働をさせず、全ての原発の廃炉を目指しましょう。

3.11 裁判報告会@上越 (柏崎刈羽原発差止訴訟)

3月11日(水)、上越市市民プラザにて脱原発新潟弁護団主催による裁判報告会が開かれ、つな脱はそのお手伝いをしました。当会賛同人でもある田中淳哉弁護士が中心に企画され、弁護団の松永仁弁護士、高野義雄弁護士による報告がなされました。

柏崎刈羽原発の基準地震動は他の原発とは桁違いに大きいことや、大飯原発差止め訴訟の特徴として、裁判官が積極的に裁判を進めていた点などを挙げられていました。

今後もおおよそ3か月に一度、新潟地方裁判所で行われる裁判の都度、上越で報告会を実施していく予定となっています。



(イメージ)

またしても歴史が繰り返されようとしている

～原発を取り巻く環境～

東京電力福島第一原発事故から4年。避難者はいまだ約12万人に及び、避難の長期化で帰還は一層難しくなっている。昨年10月、学生時代の友人と共に宮城県に入り、地震の被災地を見てきたが、それぞれスピードこそ違いが確実に復興の槌音を実感できた。対照的な存在として福島の実態を考えざるを得ない。福島の実態は、未来を描けないことにある。地震、津波、豪雨など巨大自然災害の多さでは、世界有数の立地国家である日本において、短期的な災害救済法は考えられていたが、「原発安全神話」に阻まれ長期に及ぶ放射能被害は「想定外」であり、法整備など考えられてこなかったし、今でも考える気配すら感じることが出来ない。政府のやっていることは、さらなる「安全神話」の再構築としか思えない。

政府・電力会社（財界）が今まさにやろうとしている「原発安全神話」の再構築を見てみよう。昨年秋、九州電力川内原発1・2号機に原発再稼働の「合格証」を発行し、続いて本年2月には関西電力の高浜原発3・4号機に対しても運転許可の「合格証」を出した。関西電力は、この原発でウラン+プルトニウムのMOX燃料を使用する計画である。MOX燃料は制御棒の効きが悪いという危険性をはらんでおり、使用済み燃料の処理方法は未だ確立されていないのである。高浜原発のある福井県は原発の密集地であり、琵琶湖の汚染など計り知れない影響が考えられる。原発再稼働に対する判断は立地自治体と福井県だけで行うという現在の決め方は、福島事故から何も学んでいないし、到底許されるものではない。

安倍政権は昨年4月、エネルギー基本計画で原発を「重要なベース電源」と規定し、前政権民主党の「2030年代原発ゼロ」方針を大きく変更した。経済産業省は、この計画に基づき2030年時点の日本の電源構成を定めるものとして、14名からなる「長期エネルギー供給見通し小委員会」を設置し、5月中にも結論を出す予定とされている。仮に原発の構成比が15%～20%ほどになったとしたら、今建設工事中の島根原発3号機及び大間原発を稼働させたとしても、今ある原発規制基準原則40年で廃炉にするということすら到底守ることが出来ない状態になり、延長を繰り返すことになることは明らかである。

未だに福島原発の電源喪失が、地震による直接の原因なのか、津波によるものか判明しない事実や（これは原子炉の内部検証を待たなければ判明しないと思う）、安倍首相が東京オリンピック誘致のため「状況はコントロールされている」との公言に反し、港湾外に高レベル放射能を垂れ流し、ひたすら漁民に嘘を付いている東京電力を思う時、決して再稼働はあってはならない。

避難計画の策定に関しては、更にお寒い限りである。原発から5キロ圏内の住民が優先的に避難し、それが終了するまで、30キロ圏内の住民は自宅待機し、避難指示を待つこととなっている。そこに示されるべき立地自治体と周辺自治体の関係は甚だ不明確のままである。避難方向にしてもその命令指揮系統がどのように出されていくのか分からない。川内原発・高浜原発はもちろんのこと、身近では上越市・長岡市についても全く同じことが言える。現実には避難そのものが不可能と言えるのだろう。

先日、来日したドイツのメルケル首相は「福島原発事故を受けドイツは脱原発を決めた。日本も共にこの道を進むべきだと信じている」と述べ、日本を去った。二人の元首相が「3.11から学ぶこと…それは、命の大切さと自然の持つ巨大な力。だから、原発は要らない。もっと資金と人材を自然エネルギーに注いで新しい日本をつくりましょう」と3月10日に意見広告を出した。歴史認識に疎い今の安倍首相には、ドイツの故ワイツゼッカー元大統領が「過去に目を閉ざす者は現在に対しても盲目となる」と述べた演説を理解することは無理なことだろうか……。

（文責 高野 誠）

故郷に戻れる日は来るのですか

矢澤 直子（事故当時・福島県浪江町 現在・郡山市在住）

震災と原発事故により浪江を追われ、まもなく4年となります。あの日のことを思い浮かべますといまだに身震いを覚えます。民生委員のために午前中は中学校の卒業式典に出席し、夫はパークゴルフ場へ行っていました。またちょうど孫（当時小学二年生）の誕生日でしたが……悪夢の夕となってしまいました。

あの夜、人々はそれぞれ役場や公民館などで過ごしたのではないかと思います。私と夫は中学校の体育館で過ごしました。それは異様な光景でした。薄暗く寒々とした沈黙の中、ただ犬の吠え叫ぶ声が響くだけ……。多くの方は毛布にくるまり、ストーブを囲んでいました。しかしまさか……。これだけでは収まらなかったのです。

早朝より有線放送から流れる恐ろしい訴えに驚きました。絶対安全といわれた『原発』が事故を起こしました。近所の方たちと連絡を取り合い、通帳だけを持ち、一人住まいの義姉を伴い夫と三人で車を走らせました。息子家族4人も逃げました。私たちの車はやがてガソリンが切れてしまい、山のほうの公民館に潜んでおりました。乗用車やバスがどんどん津島（福島市）方面に向かっていました。役場の方がいらして「ここは危ない」と、車に乗るように言われ、一瞬ホッとしました。「川俣南小体育館へ向かうように…」と無線が入りました。その時ハッと川俣町で食事処を開業している兄の家があることに気づき、車をとめていただき、戸を叩くと「待っていた」と快く迎えてくれました。助かりました。そこにはランプが灯り、すでに双葉からの姉夫婦、知人と息子家族たちも合流し、一安心したものでした。総勢15人で2日間お世話になりました。しかしそこはとても放射能が高かったのです。双葉町の知人が知らせに来てくれました。あとでスピーディの測定値が公表されびっくりしました。結局また、即避難することになったのです。

息子たちは福島から、一路青森へ、それぞれ福島市、茨城県へと移ることとなりばらばらになってしまいました。私ども3人は、義弟の住む福島へ行き、そこにもすでに親戚が集まり、18人の大家族で幼子が5人ほどのにぎやかさに癒されたひと時でした。1週間後の18日に義姉の住む山形から長男が迎えに来てくれました。避難する道中、雪のトンネルが珍しく印象的でした。

私ども夫婦は、当分帰還困難と判断し、山形に賃貸マンションを借りて住むことを決めました。地元の方々には手厚い支援をしていただき、感謝の気持ちで毎日涙々…でした。また知人・友人からも親切にいただきありがたかったです。7ヶ月間山形に居住し、現在の郡山市に移りました。山形では情報に乏しく、また一時帰宅する際にも便利ではないかと福島県に戻ったのです。しかし時々しかできない一時帰宅は非情です。長期間空き家となってしまった所にはとても住む気にはなれません。

若い人、孫たちの将来が大変に不安で心配に感じています。私たち浪江町民は果たして故郷に戻れる日が来るのでしょうか。事故のあった原発からわずか10km以内の隣接町です。東電はもちろん、国の責任は重大です。私たち避難者が一日も早く希望の持てる生活ができますように、心より願っております。

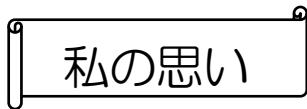
……追伸……

私の場合は親戚を頼って避難することができましたので恵まれていたと思います。集団で移動した方々の苦労は想像以上に大変だったと思います。郡山ではコーラスやストレッチなどの公民館活動に参加したことで友達ことができました。今住んでいる家も郡山の友達に紹介してもらいました。避難先でその土地の人たちと交流することで、少しでも前に進めたように思います。

内部被曝から守るために（第3回）

放射能はどうして怖いのか？

過酷事故を起こした福島第一原発からは、今も大量の放射性物質が放出されています。放射性物質は自然界に極少量存在していますし、医療にも役立てられています。今回の事故のように大量に空気中や水中に放出されると、あらゆる生物の源であるDNA（遺伝子）に多大な影響を与えます。1mSvのX線あるいはγ線を浴びると、身体を構成する約37兆個（個人差あり）の細胞の核にそれぞれ一本の放射線が通る事になり、約30個の細胞に1個の割合で身体的设计図であるDNAに発ガンの原因となる二本鎖切断がおき、癌になる危険性が増すと言われています。つまり汚染された空気や水や食べ物を体内に摂り込む事による長年に渡る内部被曝は、癌を発症したり、壊された遺伝子により奇形児が生まれたりする可能性が高まるという事です。それは皮肉にも事故当時の枝野官房長官の「直ちに影響はない」との発言に裏付けられていると思います。放射性物質の怖さは、これから表面化してくるのです。（田村厚子）



緑豊かな大地と安全な食を守りたい

小林 美奈子（上越市大町3）

私は米屋のおばちゃんです。福島原発事故を通し、日本にこんなに原発があること、原発の恐ろしさを知りました。今も国・電力会社は福島の方々の再起のために全力を尽くしているとは思えない状態で、放射能の恐怖に脅える毎日を過ごす方がたくさんいらっしゃいます。

私は2年ほど前に、上越に避難してこられた方々に玄米食で体内から放射能を排出する方法を考えていただきたいと、講演会の呼びかけをしましたが、まだ症状の出てこない人たちにはほとんど無関心で、残念でした。これから甲状腺がんが増えるのではないかと心配しています。そしてこの危険、明日はわが身に迫っています。

放射性廃棄物、生産した者が処分を見届けることができないのですから、これも大変な問題です。子供たちのために、緑豊かな大地と安全な食を守らなくてははいけません。いつまた巨大地震が来るかわからないのですから、絶対に原発を再稼働させてはいけません。原発の恐ろしさを伝えていきましょう。

◆◆編集後記◆◆

表紙の写真、いいものが撮れました。最近増えたシリーズものも板についてきた感じがします。▼「つなぐ」創刊から2年、会設立から3年が経ちました。これからも、様々な方々の「思い」をつないでいきたいです。▼7月には長男が誕生します。この子の存在が、この活動の取り組み方に大きく影響を与えることでしょうか。待ってるよ。（F・U）

《 募集中 》

◆支援物資・カンパ・ボランティア

任意団体「高田教区震災支援有志会」は、福島で生活物資を必要としている人たちのための「青空市場」（福島県二本松市）に毎月物資を届けたり、現地で炊き出しなどを行ったりしています。詳しくはお問い合わせください。連絡先 豊島さん（090-7270-4078）

《 活動報告 》

◆1. 18<しゅっちょうべんきょうかい IN板倉>

【日時】1月18日（日）13:00~15:00

【会場】板倉区総合事務所「市民相談室」

【内容】①DVD鑑賞「チェルノブイリハート」～原発事故から18年後の実態～ ②交流会

◎14名が参加。うち3名が初参加。事前にポスティングしたチラシを見て来てくださった方1名。アンケートでは「学校で開催して、子供たちにも見てもらいたい」との声も寄せられました。

◆2. 8<出張前デリ・ピラ IN名立>

【日時】2月8日（日）10:00~12:00

◎2月にしては比較的暖かな日曜日、うみてらす名立に6名が集合。約2時間かけて「しゅっちょうべんきょうかい」のピラと県議選のチラシを配布しました。殆どポスティングでしたが、直接手渡した方とはけっこう話はずみました。勉強会当日の参加に期待したのですが…？ それでも確実に種は蒔かれたと思います。

◆2. 15<しゅっちょうべんきょうかい IN名立>

【日時】2月15日（日）13:00~15:00

【会場】名立コミュニティプラザ 第二会議室

【内容】①DVD鑑賞「テレビと新聞が伝えない山本太郎本当の話～放射能どこがこわいの？山本太郎が広瀬隆に聞く！～《前編》」 ②ぶち交流会

◎初参加1名を含む8名の方が参加してくれました。風力発電施設がある名立はエネルギーに対して意識の高い土地柄なのか、原発に詳しい参加者でした。

つなげよう脱原発の輪 上越の会

代表：植木史将（090-4962-9633）

公式ホームページ 続々更新中

全国の放射線量サイト、他団体HPにもリンク！

tunadatu.jimdo.com

つな脱

検索

カンパ募集中です

当会は会の趣旨にご賛同いただける皆様からのカンパで運営されています。ご協力よろしくお願ひします。

ゆうちょ銀行から…11260-13169471（名義当会）

ゆうちょ銀行以外から…ゆうちょ銀行・伊弉册（一ニハ）・普通預金・1316947（名義当会）